

土砂災害

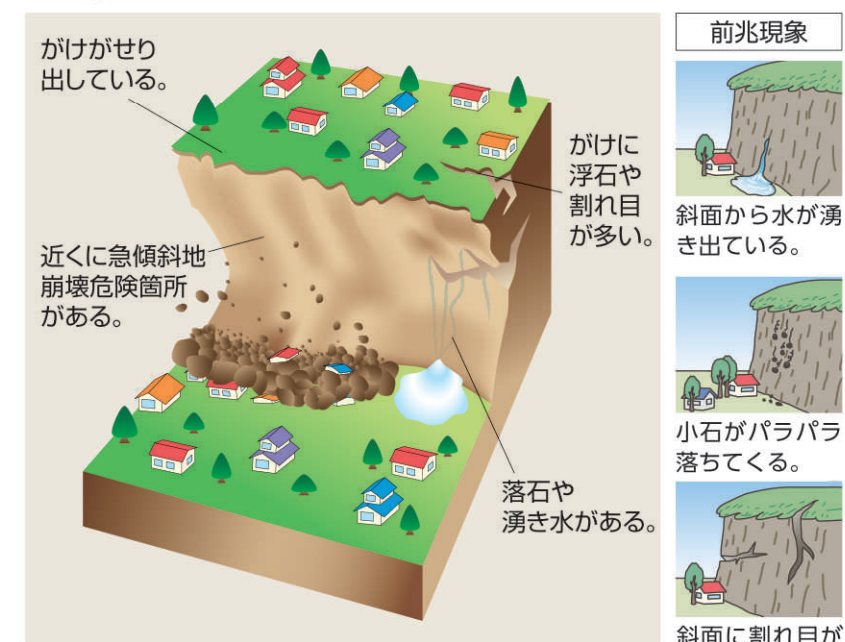
土砂災害は、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3つに分類されます。町では、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、溪流やため池からの土石流による土砂災害の危険性があります。ため池のうち、決壊した場合の浸水想定区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与える恐れのあるため池を防災重点ため池としてハザードマップに掲載しています。

土砂災害が発生すると、人命に関わる重大な被害をもたらします。土砂災害は突然発生しますので、身を守るためには、まず自宅の周りに危険な箇所がないか確認しておくことが重要です。長雨や大雨の時に前兆現象を確認したら、早めに避難しましょう。また、土砂災害は雨がやんでからも発生するおそれがありますので注意しましょう。

土砂災害対策の種類と前兆現象

がけ崩れ

大雨や長雨、地震などの影響で、急ながけ地や山の斜面が突然崩れ落ちてきます。



急傾斜地崩壊危険箇所とは 傾斜度が30度以上、高さ5メートル以上の急傾斜地で、人家や公共施設（官公署、学校、病院等）に被害を与えるおそれのある箇所及び今後新規の住宅立地等が見込まれる箇所をいいます。

2つの警戒区域を知っておきましょう

県では、がけ崩れが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を、土砂災害警戒区域などとして指定しています。

- ・イエローゾーンとレッドゾーンがあることに注意しましょう。
- ・それぞれ警戒区域などに指定された際の対策が異なります。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害のおそれがある区域のこと。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと。

予兆現象に気づいたら…

近所の人に声をかけながら、早急に安全な場所に避難してください。

より多くの人に危険を知らせるため、町役場や関係機関に情報提供をしてください。



何よりも早めの避難を!!

土砂災害は、大きな破壊力で一気に襲ってくるため、人命に関わるとても恐ろしい災害です。

土砂災害は豪雨や地震によって突発的に発生します。いつ、どこで、どの程度の規模で発生するのか、正確に予測することはできません。

今まで崩れたことが無い場所でも安心できません。がけ崩れや土石流はあっという間のスピードで襲ってきます。気づいてから逃げることはとても困難です。

地震が発生したら

大きな地震が発生した際、冷静に対応するのは難しいものですが、一瞬の判断が生死を分けることもあります。いざというとき「あわてず、落ち着いて」行動するために、地震発生時の基本的な対応パターンを覚えておきましょう。

地震発生時の行動チャート



家の中で大きな揺れを感じたら

●まずは身の安全を守る

地震が起きたら、まず第一に身の安全を確認しましょう。ある程度揺れがおさまってから、次の行動に移りましょう。

●揺れがおさまったら火の始末

揺れがおさまったらガス器具やストーブなどの火を消しましょう。もし出火しても天井に燃え移る前なら慌てず消火器具で初期消火に努めましょう。電気火災を防ぐため、避難の前に電気ブレーカーを落としましょう。

●戸を開けて出口を確認

とくにアパートなどの中高層住宅では出口の確保が重要です。逃げ口を失い閉じこめられないようにしましょう。

●慌てて外に飛び出さない

家の倒壊の心配があれば外へ逃げましょう。瓦やガラスなどの落下物には十分注意し、お年寄りや子どもとはしっかりと手をつないで避難しましょう。

●正確な情報を

すぐにテレビ・ラジオをつけ、報道機関や町からの情報などで正確な情報を得るようにし、デマには惑わされないようにしましょう。

外出先で大きな揺れを感じたら

●屋外にいるときは

- ・持ち物で頭を守りましょう。
- ・ビルや建物から離れ、安全と思われる場所（空き地など）へ避難しましょう。
- ・ブロック塀、自動販売機、店頭のショーウィンドウには近寄らないようにしましょう。

●スーパーなどの建物の中では

- ・ガラスや陳列棚から離れ、落下物から頭を守りましょう。
- ・非常口や、階段へはあわてず落ちついて向かいましょう。
- ・場内放送や係員の指示に従いましょう。

●車を運転しているときは

- ・徐々に速度を落とし、道の左端に止めてエンジンを切りましょう。
- ・緊急車両を優先させましょう。
- ・車を離れるときはキーを付けたままにし、ドアもロックしないようにしましょう（スマートキー搭載車はスマートキーを車内に置いておく）。

直下型地震

震源が浅く人々が生活する内陸の直下で発生することが多く、活断層がずれることによって起きる地震です。兵庫県南部地震（阪神淡路大震災・1995年）や新潟県中越地震（2004年）、熊本地震（2016年）も直下型地震でした。